

學 藝 新 聞

第17号
2021年(令和3年)5月20日 発行

- 附属中マルチカルチャーデー・新中1対1エンタージョン… 1・2
- 高校各学年トピックス/輝く人(卒業生)… 3・4
- 進路指導部・教務部…………… 5
- 国際科・生活指導部…………… 6
- トピックス・募集対策部…………… 7
- 学芸ボランティア・写真部…………… 8

発行元
学校法人 大阪学芸
大阪学芸高等学校
大阪学芸高等学校附属中学校
〒558-0003 大阪市住吉区长居1丁目4番15号
TEL.06-6693-6301 FAX.06-6693-5173

Multi Cultural Day

多文化共生の学び

マルチカルチャーデー

附属中学校では毎年12月に、日頃の英語教育や国際理解教育の成果を試し、多文化共生の大切さをより深く理解するために「マルチカルチャーデー」という日を設けています。

附属中学校の国際理解教育では、英語圏の人びとに限らず、母語を共通にしない人びととのコミュニケーションツールとして英語を捉えるとともに、多文化共生の「学び」を深めることに重点を置いています。

学芸ニュース

マルチカルチャーデー



附属中学校各学年のご紹介!! 日頃の英語教育や国際理解教育の集大成として活動しました

校内
12月16日(水)

旧中学1年生(現中2)

中学1年生は毎年、様々な国の文化や遊びをじかに学ぶ場として、公益財団大阪府国際交流財団よりOFIX国際理解教育外国人サポーターの方を派遣していただき、校内で様々な異文化交流体験を実施しています。昨年度は中国・エジプト・ベトナム・フィリピン・ブラジルの

5カ国の留学生の方に来ていただきました。初めにホールにてそれぞれの国の紹介を聞きます。本で読むだけではない、実際に暮らしていたサポーターの方々のお話に耳を傾け、スライドに映し出される景色に感嘆していました。また、国に関するクイズでは「授業で習ったから

知っている!」と嬉しそうな声を上げていました。その後、体育館やホールにて、各国の文化を実際に体験しました。教わった文字や言葉を実際に書いたり、小さなボールを使った遊びをしたりと、体験を通じて交流を深め、楽しい時間を過ごすことができました。



OSAKA ENGLISH VILLAGE EXPOCITY内
12月22日(火)

旧中学2年生(現中3)

旧中学2年生はEXPOCITY内にあるOSAKA ENGLISH VILLAGEを訪れました。アメリカの日常や文化、歴史をモチーフにした様々なシチュエーションルームがあり、それぞれの部屋でニュースキャスターや客室乗務員、レストランのスタッフなどになりきって、各回30分、合計3回のレッスンを受けます。

オールイングリッシュでコミュニケーションをとることに最初は戸惑いを見せていましたが、明るく陽気なインストラクターの方々や打ち解けていくにつれ、緊張もほぐれていきました。最初は問いかけに答える、という形でしたが、慣れていくと自分から積極的に話しかけ、普段学んでいる英語を駆使して楽しみながらレッスンを受けていました。



ECC国際外語専門学校
12月21日(月)

旧中学3年生

旧中学3年生は梅田にあるECC国際外語専門学校の「グローバル体験プログラム」に参加しました。

初めは「英語でオーダー体験」。薬局、ファストフード店において一人で買い物できるか、というシチュエーションで、まずは留学生のスタッフとやり取りの練習をしました。その後は小部屋で対一のコミュニケーション課題に挑戦します。次は「英語でディスカッション体験」。SDGsをテーマに、世界が抱える様々な課題について、レクチャーやゲームで学んだあと、英語で意見交換をします。今回は「フードロス」について、日本に来ている留学生のスタッフと意見交換をしました。

どちらの体験も、初めは緊張や不安の色を

浮かべていた生徒たちですが、レクチャーやゲームを通じて緊張もほぐれ、自分たちの知っている英単語やジェスチャーを使い、一生懸命、意欲的に自分の意見を伝えていました。

また、このプログラムを修了した後、これまでの学びに自信が付き、英語に対する勉強意欲がさらに高まったとの声も聞こえてきました。

どの学年も新型コロナウイルス対策として「少人数のグループを作る」、「使ったものはすぐに消毒する」、「密を避ける」などを徹底し、その中で物怖じせず、楽しみながら自分たちの培ってきた力を発揮しました。



新中学1年生

4月6日・7日 初めてのオリエンテーション

4月6日(火)・7日(水)の2日間、新入生オリエンテーションを行いました。新しい制服に身を包み、初めての校舎や教室の中、緊張した面持ちで担任の先生の話に一生懸命耳を傾けていました。

また、ホールでは教頭先生から学校生活や勉強に関する講話を聴きました。中学生としての立ち居振る舞いや、5月に待ち構える初めての中間考査についての意識が高まったようです。

校舎探検ツアーでは、様々な学校施設に感動と期待の色が浮かんでいました。広い校舎ですが、「もう完璧に覚えた!」「絶対に迷わないぞ!」

と意気込む様子も見られました。教室では新しく出会ったクラスメイトの前で自己紹介を行いました。初めは緊張していたものの、趣味や好きなものを発表すると大きな拍手に包まれ、ホッとした表情を浮かべていました。

教室前の廊下には、新中学2年生が作成した、新入生歓迎のポスター

が貼られています。学校に関することや勉強に関する心構え、アドバイスなどが書かれたカラフルなポスターを見ているうちに、気持ちも和らいだようでした。

始まったばかりの中学校生活。いろいろなことに挑戦し、活躍してほしいと願います。



新たな学年・楽しい学校生活を迎えて

新 高校1年生

670名でスタートすることになった今年度の高校第1学年。入学式・新入生オリエンテーション・始業式など、高校生としての最初の行事が行われ、それらの行事のなかで、高校生として、また学芸生としての心構えを学びました。

新1年生は期待・緊張・不安など様々な表情で学校生活を始めました。そんな様々な表情の中に、時間の経つにつれて「笑顔」が増えてきました。これから3年間多くの時間を過ごすこの学校生活を大切に、「笑顔」が増えていくように顔晴り（がんばり）しましょう。3年後、5年後、10年後、ふとしたきっかけに「学芸で良かった」と思えるような学校生活をみんなで創り上げていきたいと思ひます。

新 高校2年生

昨年度はコロナ禍の中にあり、多くの我慢を強いられた1年となりましたが、3月には生徒・保護者の皆さまのご協力もあり、なんとか無事にスポーツ大会を実施することができました。ソーシャルディスタンスの確保や大きな声援の禁止など、たくさんの制限がある中で、生徒たちはそれぞれに力を出し切り、精一杯楽しんでいました。また同じく3月には、半日を使って総合探究の授業があり、この1年間、生徒たちが各自でまとめあげた進路探究についての発表や、小論文の書き方の指導等、普段とは違った学びがありました。

2学年となった今年度は、高校生活にも慣れ、さまざまな面で余裕が出てくる学年かと思ひま



す。高校での友達も増え、いろいろな価値観や考え方に触れる機会にも恵まれるでしょう。また、部活動では後輩もでき、今までとは違った悩みも出てくるかもしれません。そのような環境の変化の中、コミュニケーション能力や問題解決力を身につけていってほしいと考えています。さらに今年度は、卒業後の進路獲得に向けて、より前向きかつ具体的に考えていく学年にしていきたいと思ひます。

今年度も感染対策に十分に留意しながら、生徒たちが充実した学校生活を送れるよう尽力してまいります。

新 高校3年生

総合探究 一世の中の諸問題を自分ゴトとして考えるー

高校新3年生は、昨年度4月から約1年間にわたり、SDGsの17の目標に関わる研究テーマを自ら設定し、レポートを書き上げました。3月初旬には、クラス内で研究内容についてのプレゼンテーションも行いました。ちなみに、特技コースについては、SDGsと自身の特技活動とを関連させたテーマ設定をしています。

今回のテーマ設定に際して、少しモノの見方を変えるだけで、他の人とは違う視点で世の中の諸問題を「自分ゴト」として捉えることができます。どの生徒も自分なりに世の中の動きを読み取り、非常に興味深いレポートを作成しました。最

近の入試では、総合探究の取り組みが国公立大学や私立大学の総合型選択および学校推薦型選択入試で活きるケースも増えています。また、一般選抜でもSDGsの17の目標に関わるテーマに基づく出題がよく見受けられます。今回の総合探究を契機として、将来の進路を考え始めた人もいたかと思ひます。今回1回きりで終わることなく、今後も引き続き「探究」していってほしいと願ひます。

総合探究の研究内容やプレゼンテーションのうちから優れたものを紹介します。この中から学年の最優秀賞1名、優秀賞2名を選出しました。



【初めての大学入試共通テスト】

「大学入試改革元年」として、大学入試センター試験から変わって大学入試共通テストが実施され、本校でも多くの生徒が挑みました。出題方法や配点・試験時間等、様々な点でセンター試験からの変更がありました。顕著に変わった点は文字量が増えたことです。また、その文字量から、何が問われているのかを正確に把握する力も求められました。こうした変更点に対応するためには、普段から長い文章を読み慣れておくことが必要となります。さらに、出題の意図をつかむために、相手の伝えたいことを理解し、相手の理解しやすい言葉を選び、適切な表現の方法を考えていくこと、つまり、日ごろからの丁寧なコミュニケーションを積み重ねることも大切だと感じました。

大学入試改革は、「思考力・表現力・判断力」と「主体性・協働性」を評価できるように大学入試を変えていくことと位置付けられています。このように言葉を並べると難しいように感じますが、いずれも日常生活に必要なものばかりです。したがって、普段の生活の過ごし方が学力の根底として据えられたと言えるかもしれません。これから大学受験を迎える生徒の皆さんには、普段の勉強に取り組みながら、学校・家庭での時間の過ごし方を振り返ってもらいたいと思ひます。

【卒業式を終えて】

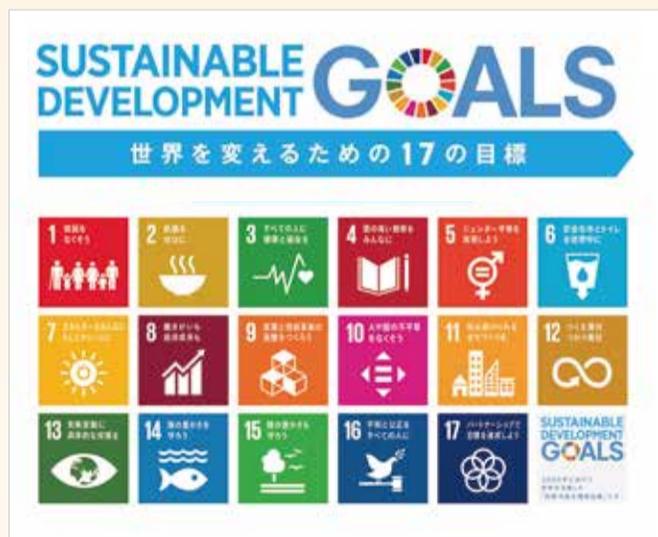
2月22日に大阪市中之島のフェスティバルホールで卒業式が挙行され、737名に卒業証書が授与されました。

フェスティバルホールでの卒業式に向けて準備を始めたのは、生徒がまだ高校2年生だった2020年の冬でした。音響の素晴らしいホールで、これまでの高校生活を誇らしく振り返り、これからの新たな生活を堂々とスタートさせる。その思いを込めた737名の歌声がホールに響きわたるような卒業式を思い描いていました。ところが、新型コロナウイルスの影響で午前・午後の2部制での卒業式となったため、ホールに集まることのできた生徒はそれぞれ半数ずつとなってしまいました。また、感染予防対策のため、卒業歌どころか、校歌すら歌うことができませんでした。

それでも、フェスティバルホールのステージに上がり、仲間や保護者の座る客席に向かって胸を張って返事をする姿からは、例年を越える困難と苦悩を乗り越えてきた自信が自然と溢れ出ていました。卒業生代表は壇上で堂々と、「この怒涛の1年を乗り越えてきた私たちなら、どのような困難も必ず乗り越えることができると信じています」と宣言してくれました。

校長先生は式辞のなかで「今日はこれからの人生の最初の日です」とおっしゃいました。まだまだ困難な状況は続きますが、高校時代に培った自信をもって、737名の116期生が今後も歩み続けてくれることを期待しています。

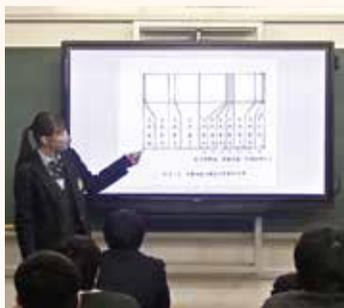
厳しい社会状況のなかで卒業式が挙行できたのは、多くの方々のご協力のおかげです。最後になりましたが、教職員並びにフェスティバルホールの方々、そして卒業生と保護者の皆さまに心から御礼申し上げます。



「たこ焼きで飢餓から解放しよう」
「発展途上国の医療体制」
「アベノマスクを配布したのは良かったのか」
「質の高い教育をみんなに」
「コロナ禍での影響」
「ランドセル」
「音楽の力」
「日本のジェンダー政策の遅れと改善点をグローバル視点から見直す」
「コロナと観光業と経済」
「依怙品屋と自己防衛」
「SDGs10 人や国の不平等をなくそう」
「人や国の不平等をなくそう」
「自然災害から身を守るために」
「海の自然を守る」
「サンゴ礁を守るために」
「環境をよくするには」
「動物の寿命と環境汚染の関係性」
「自分を作る思考～夢を持つあなたへ～」



最優秀賞：高良 咲喜 さん
「たこ焼きで飢餓から解放しよう
～関西発祥の食べ物で世界を救う～」



優秀賞：窪田 遥 さん
「環境をよくするには」



優秀賞：喜左上 るい さん
「発展途上国の医療体制」

高校



今、注目の 女子プロサッカー!!

期待の選手たちの中に本校卒業生がいます。
今後の目標や在校生へのアドバイスを頂きました。

サンフレッチェ広島

松原志歩さん

名前 松原志歩 (まつばらしほ)
 生年月日 1997年7月7日
 ポジション DF
 サッカー歴 Erba FC
 →セレッソ大阪堺レディース
 →アルビレックス新潟レディース
 →サンフレッチェ広島レジーナ

主な戦歴 (代表歴等)
 U-16日本女子代表 (2013) アジア大会 優勝
 U-17日本女子代表 (2014) W杯 優勝
 U-18日本女子代表候補 (2014)
 U-19日本女子代表 (2015) アジア大会 優勝
 U-20日本女子代表 (2016) W杯 3位



©2021 S.F.C

Q どのような高校生活を送っていたか

A 朝、学校に行き授業を受けた後、すぐにサッカーの練習に行き、帰ってご飯とお風呂を済ませてすぐ寝るという生活を送っていました。高校生活は、いつも時間がない中で、時間をどう有効的に使うかを考えながら生活していました。その生活が今に活かされていると思います!



Q 現在、頑張っていることや目標

A 筋トレなどの体づくりと料理です。

Q 将来の目標や夢

A 日本代表になること、WEリーグという日本初の女子プロサッカーリーグのリーグ戦で優勝することです。

Q 在校生へのメッセージ

A 夢や目指していることがある方は、絶対に諦めずにコツコツと頑張ってください。まだ夢がない方もひとつ頑張れることを見つけて、高校生活を楽しくしてください。

Washington Spirit

宝田沙織さん

名前 宝田沙織 (たからださおり)
 生年月日 1999年12月27日
 ポジション DF, FW
 サッカー歴 小学生 FCひがしJr.(富山県)
 中学生 アカデミー堺、セレッソ大阪堺レディース
 高校生~2020年 セレッソ大阪堺レディース
 現在 Washington Spirit (アメリカ)

主な戦歴 (代表歴等)
 U-16日本女子代表 アジア大会 準優勝
 U-17日本女子代表 W杯 準優勝
 U-19日本女子代表 アジア大会 優勝
 U-20日本女子代表 W杯 優勝
 なでしこジャパン 2019年W杯 ベスト16



©ちふれASエルフエン埼玉

Q どのような高校生活を送っていたか

A 朝は遅れず登校して授業に臨み、夕方からはひたすら練習していました。サッカーも勉強も頑張っていました!



Q 現在、頑張っていることや目標

A 今は初めてプロ契約をさせていただいて、サッカー選手として挑戦中です。また、初めて海外に移籍して新しい環境で頑張っています!今年は少しでもチームに必要な選手となれるように、また結果にもこだわって楽しみながら、頑張ろうと思います!

Q 将来の目標や夢

A 東京オリンピックが近いので、メンバーに選ばれて金メダルを獲ることです!

Q 在校生へのメッセージ

A 私は今年から新たな大きな決断をして、海外にチャレンジすることに決めました。チャレンジすることは誰にとっても不安であり、もちろん簡単に決められることではありません。でも、自分がどうなりたいのか、この先何がしたいのかをしっかりと考えて、チャレンジすることを恐れずに自分と向き合うことを大切にしてください!そして、たくさんの方にチャレンジしてみてください!!

マイナビ仙台レディース

矢形海優さん

名前 矢形海優 (やかたみゆ)
 生年月日 1999年12月30日
 ポジション FW
 サッカー歴 小学校:西京極ジュニアサッカークラブ
 中学校:セレッソ大阪堺ガールズ
 高校、大学1~3年: セレッソ大阪堺レディース

主な戦歴 (代表歴等)
 U-17日本女子代表 (2016)
 U-20日本女子代表 (2018)



©mynavisendai

Q 現在、頑張っていること

A 一人暮らしになり、毎日料理作りを頑張っています。

Q 将来の夢

A なでしこジャパンに選出され、活躍することです。サッカーと勉強の両立で大変でしたが、先生や友達に恵まれ、毎日が楽しい高校生活でした。勉強は苦手でしたが、先生方がいつも楽しい授業をしてくださったので、私も先生になりたいという夢を持つようになりました。今も体育の教員免許取得できるように頑張っていますが、もう一つの夢であるプロサッカー選手としても頑張っています。大阪学芸高校で学んだ日々が私に夢を与えてくれたことに感謝しています。



Q 在校生へのメッセージ

A 高校生活でしかできない思い出がたくさんあると思うので、今を大切に、楽しみながら夢を見つけて頑張ってください。

ちふれASエルフエン埼玉

祐村ひかるさん

名前 祐村ひかる (ゆうむらひかる)
 生年月日 1997年10月18日
 ポジション MF・FW
 サッカー歴 アーバンベガスFC→FCヴィクトリア
 →大阪学芸高校女子サッカー部・シルエラ西成
 →武蔵丘短期大学CIENCIA
 →ちふれASエルフエン埼玉



©ちふれASエルフエン埼玉

Q どのような高校生活を送っていたか

A 私は大阪学芸高校女子サッカー部所属で特技コースで学びました。クラスの友達もみな自分の特技で頑張っていたので、良い刺激をもらいながら楽しい高校生活を送っていました。

Q 現在、頑張っていることや目標

A WEリーグ初年度ということで、チームで初タイトルを獲るのが目標です。

Q 将来の目標や夢

A 夢はただいま考え中ですが、やりたいことがたくさんあります!

Q 在校生へのメッセージ

A たった3年間の高校生活。長いと感じる人も短いと感じる人もいます。あれをやっていたらよかったな、とか、これをやっていたらよかったな、などと後悔しないような高校生活にしてください!何事も諦めなければ絶対に見てくれる人はいます。無理に頑張れとはいいません。ゆっくり自分のペースで楽しんでください!みなさんの高校生活がより良いものになることを願っています。





昨年度の入試を振り返って

【私立大の定員厳格化の影響】

4年前は、ちょうど「私大の定員厳格化」が本格化した時でした。定員を超えて学生を在籍させた大学は、ペナルティとして国からの補助金がカットされてしまうため、関関同立や産近甲龍などの人気のある私立大学は、合格者を想像以上に絞り込みました。当時は、滑り止めのつもりで受験した大学も不合格になるような、本当に厳しい時期でした。しかし、厳格化以前に定員を大きく超えて入学させた学生は毎年順次卒業していき、在籍学生数も減少していったため、年度を追うごとに各大学は合格者を増やし、昨年度の入試は元の状態に落ち着いたといえると思われま

志願者数の減少

- ウイルス感染の不安から、地方の生徒が首都圏や関西圏の大学の受験を避けた。
- 緊急事態宣言などで経済的な影響を受けた家庭が、受験の回数を減らした。
- 入試システムの変更を避けた受験生が安全志向に走り、昨年度は浪人生が激減した。
- 大学が新しい学部を設立し、入学定員を増やした。
- 少子化の状態が進んだ。

以上の理由から、各私立大は昨年度よりも志願者数が減少しています（表1参照）。それに伴い、摂神追桃などの中堅私大では数年前は7倍、8倍が当たり前だった一般入試での入試倍率が3倍を切ることも珍しくありませんでした。（同じ大学に複数回受験可能な私立大学では、5倍前後が標準的な倍率とされています。）そのためか、第2志望の大学には不合格だったが、第1志望の大学には合格したという生徒が例年よりも多くいました。

また、定員厳格化のルールは、今もなお残っています。そのため、多くの大学は、3月中頃から「追加合格」を出すことで在籍者数の調整をしています。ちな

みにこの追加合格の数は、関西大、近畿大共に2,000名と、多数の受験生が追加合格となっており、この流れは今後も続くものと考えられます。

（表1）一般入試（スタンダード入試）志願者の動向

| | 2020 | 2019 | 2018 |
|-------|-------|-------|-------|
| 関西大 | 56123 | 59441 | 63364 |
| 関西学院大 | 21639 | 21268 | 23924 |
| 同志社大 | 36490 | 39654 | 42571 |
| 立命館大 | 47634 | 57078 | 52719 |
| 京都産業大 | 24929 | 33123 | 32023 |
| 近畿大 | 78932 | 90260 | 96889 |
| 甲南大 | 8881 | 10740 | 12562 |
| 龍谷大 | 38406 | 39336 | 41044 |

昨年度の本校の私大合格者実績は、ここ数年で最もよかったとされる一昨年度と比べても引けをとらないものでした。この原稿は3月中旬に書いているのですが、立命館大や関西大、近畿大など本校生の多くが目標とする大学への合格や、今まで何回受験しても不合格が続いた大学への合格の連絡が数多く舞い込んできています。コロナ禍や入試改革など、自身の

力ではどうしようもないことが次々と起こった中であっても実績を伸ばすことができたのは、私大の入試が易化したことでもあります。それ以上に最後まで諦めず本気で頑張る生徒が増え、それを教員が支えたからだと思えます。そのような生徒は2月～3月の一般入試で、第1志望校もしくは志望順位の高い目標大学に合格しています。実はこの状況はかなり以前から全く変

わっていません。本校が生徒や保護者の前で「最後まで!」と訴え続け、その考え方が少しずつ浸透してきているのは本当にうれしいことです。

【大学入学共通テスト】

当初平均点が50%になるように作問出題をするといわれていた共通テスト（今までのセンター試験は平均が60%となるように出題されていました）ですが、実施初年度は各科目の平均点が50%後半から60%前半となり、思ったよりも下がりました。共通一次からセンター試験に変わったときもそうでしたが、「入試のシステムが大きく変化した最初の試験は、各方面からの批判を避けるために易し目の作問となるだろう」と塾・予備校関係者がかねてより予想していた通りとなりました。となると2回目、3回目の共通テストは難化が予想されます。

（表2）本校の合格者数（現役生・延数）の推移

| | 2020 | 2019 | 2018 | 2017 | 2016 |
|-------|------|------|------|------|------|
| 関西大 | 77 | 57 | 52 | 28 | 70 |
| 関西学院大 | 27 | 20 | 18 | 19 | 16 |
| 同志社大 | 7 | 9 | 8 | 14 | 13 |
| 立命館大 | 12 | 21 | 9 | 3 | 24 |
| 京都産業大 | 84 | 40 | 27 | 5 | 37 |
| 近畿大 | 252 | 236 | 138 | 65 | 82 |
| 甲南大 | 20 | 6 | 7 | 12 | 27 |
| 龍谷大 | 69 | 66 | 25 | 44 | 6 |

（2017、2018が定員厳格化の影響を大きく受けた年です）

国公立大を志望する受験生にとって、この共通テストは非常に重要なものになります。私立大と国公立大の受験のシステムの大きな違いは、複数回受験ができるか、実質1回のみを受験となるかということです。私大受験は「とにかく行けるところまで、最後まで頑張ろう!」という攻めの姿勢での受験が可能です。しかし、国公立大受験は、共通テストで思うような点数が取れなかった場合のことを前もって想定し、複数の出願先を検討していかなければいけないといった、守りの姿

勢も必要です。そして、その出願先として下宿が必要な地方の国公立大も視野に入れなければなりません。「行けたらいいな」位の中途半端な気持ちでどうにかなるものではありません。阪大・神大や大阪市大・府大のような誰もが憧れる大学への切符は、「絶対に行く!」といった強い気持ちと覚悟、そして行動の伴った生徒が最終的には手にしています。今後もそのような生徒が増えていくことを期待し、指導を続けていこうと決意しています。

（表3）本校の合格者数（現役生・実数）の推移

| | 2020 | 2019 | 2018 | 2017 | 2016 |
|----------|------|------|------|------|------|
| 大阪大 | | 1 | 1 | | 1 |
| 神戸大 | | 1 | | | 1 |
| 大阪市大 | 3 | 2 | 3 | | 3 |
| 大阪府大 | | 4 | 2 | 2 | 2 |
| その他国公立大 | 20 | 25 | 20 | 15 | 14 |
| 国公立大合格者数 | 23 | 33 | 26 | 17 | 21 |

教務部より

今回は学習指導要領の大改訂に伴う教育課程の変更について説明いたします。

平成30年3月に告示された最新の学習指導要領において、巻頭の総則に、「生徒の人間として調和のとれた育成を目指し、生徒の心身の発達の段階や特性等、課程や学科の特色及び学校や地域の実態を十分考慮して、適切な教育課程を編成する……」とあります。

この要旨をふまえ、生徒の皆さんが上記の目標を達成できるように教育課程を編成しています。

さて今回は、令和4年度入学生徒から変更される教育課程について、どのように変わるかを説明します。別表をご覧ください。

今回は特に国語と社会の2教科において大きな変更があります。別表では必修科目について説明していますが、必修科目以外でも科目名が大きく変わります。この変更点に従い、生徒の皆さん一人ひとりが学力を高め能力を発揮できるような教育課程の編成に取り組んでいます。

| 別表 | 現行 | 改訂 |
|----|--------|---------|
| 国語 | 国語総合 ○ | 現代の国語 ○ |
| | 国語表現 ○ | 言語文化 ○ |
| | 現代文A | 論理国語 |
| | 現代文B | 文学国語 |
| | 古典A | 国語表現 |
| 地歴 | 古典B | 古典探究 |
| | 世界史A ※ | 地理総合 ○ |
| | 世界史B ※ | 地理探究 |
| | 日本史A | 歴史総合 ○ |
| | 日本史B | 日本史探究 |
| 公民 | 地理A | 世界史探究 |
| | 地理B | |
| | 現代社会 ○ | 公共 ○ |
| | 倫理 | 倫理 |
| | 政治・経済 | 政治・経済 |

○印が必修科目。※印は選択必修科目。

変更点（新設された必修科目について）

| | |
|----|---|
| 国語 | 実社会の活動に必要な能力を育成する「現代の国語」我が国の言語文化の理解を深める「言語文化」 |
| 社会 | グローバルな視野で世界の状態を把握するための「地理総合」世界と日本を相互的に捉えるために近現代の歴史を学ぶ「歴史総合」社会に参画する際の概念や理論を習得するための「公共」 |

高校

[ダブルディプロマコース]
旧1年A組・旧2年A組

Gallery Presentations大会!!



3月12日(金)にカナダの科目Social Studies12の授業で、旧2年A組の生徒によるGallery Presentationsがありました。各自が日本や世界の文化について自分でテーマを決め、調べたことをスライド等にまとめて、英語でプレゼンテーション・質疑応答を行いました。旧1年A組の生徒もギャラリーとしてプレゼンに参加し、先輩の発表に聞き入っていました。

<発表内容>

- ① The Happiest Place on Earth
- ② Difference of Movie in America and Japan
- ③ What are the difference of multiculturalism in society?
- ④ 和食 Washoku
- ⑤ Why is the social status of dancers so low in Japan?
- ⑥ The Impact of the Mask
- ⑦ What makes language respectful?
- ⑧ The Hidden Message of Ghibli
- ⑨ Why Japanese are not good at speaking English?
- ⑩ Gender Identity

優秀賞

近藤匠さん

「話してみよう韓国語」大阪大会

2月に開催された大阪韓国文化院主催第19回「話してみよう韓国語」大阪大会にて、旧2年A組近藤匠さんが、中高生スピーチ部門で優秀賞を獲得しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、大会は「オンライン開催」に変更されました。受賞者のスピーチは右記のQRコードからYouTube(近藤さんスピーチは3分24秒から)で視聴できます。以下は、近藤さんの言葉です。「韓国語を学ぶ家族の影響で1年

ほど前から独学で韓国語を学んでいます。今回はその学びを何かの形に残したくて応募しました。スピーチのテーマは韓国式英語(コングリッシュ)で、英語や日本語などの他言語と比較し、関連や相違点を学ぶことで、より深く、より面白く韓国語を学べることを伝えたいと思いました。今後は各種の韓国語検定にも挑戦し、大学ではアジアを中心とした言語の研究をしていきたいと考えています。」

英語以外の言語にも挑戦中!



旧1年B組(1年留学コース)



新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響で、留学が7月下旬まで延期となり、プログラムもOGOP(カナダ・オタワ)のみとなりました。そこで、留学までの間、オタワの高校生とオンラインで交流し、メールを交換したり、協力してプロジェクトに取り組んだりして、プレゼンテーション等を行うことになりました。留学期間が半年になるのは大変残念ですが、実際の留学をより充実したものにできるよう、生徒たちは前向きに頑張っています。(写真はカナダの生徒に向けた本校生徒制作の学校紹介ビデオ)

旧2年B組(1年留学コース)

旧2年B組の生徒・保護者を対象に、3月11日(木)にトフルゼミナル留学センターの堀内学所長をお招きして、「海外大学進学セミナー」をオンラインで実施しました。海外大学進学目的と意義、各国の留学制度、準備・対策、費用について、わかりやすく教えていただきました。



生活指導部より



生活指導部では、本年度も「社会において当たり前とされる習慣を確立し、自己と他者を尊重できる人間になる」ということを基本方針として、生徒の皆さんが充実した人生を創造していく土台を作ることを目標に、指導に当たりたいと考えています。

当たり前とされる習慣とは、「あいさつをする」「時間を守る」「身だしなみを整える」「人の話をしっかりと聞く」「ルールを守る」など、様々なものがあります。習慣とは「学習によって後天的に獲得され、反復によって固定化された個人の行動様式」のことであり、何度も何度も意識して行動することによって、初めて出来るようになるものです。そして意識しなくても自然とできるようになって本当に身に付いたと言えるものです。

2020年のシーズン終了後、以下のようなことを語った野球選手がいます。「色々世間を騒がせたりもしましたが、野球に対しては真剣に取り組んでできました。しかし、それだけではダメでした。一流の選手は野球以外でもしっかり自己管理していると実感しました。野球は好きですが、自分はプロ野球選手ではなかったのです。彼はまた「猫を被るのも正直しんどい、プロ野球という場所が窮屈に感じていたのも事実です。」とも語っています。この選手はドラフト2位入団で将来を大きく期待された存在でしたが、無免許運転や未成年飲酒などで処分を受け、2020年は、新型コロナウイルスの感染防止で球団が外出を禁止していた時期に

ゴルフに行くなどしたため、無期限の対外試合出場禁止処分を受けていました。そして結局、8年間のプロ生活において、一度も一軍で出場することなく戦力外通告となってしまいました。

このように、社会に出たときに当たり前とされる習慣が身につけていないと、いくら才能があっても応援されず、実力を発揮することもできません。元メジャーリーガーのイチローさんは「特別なことをするために特別なことをするのは、特別なことをするために普段どおりの当たり前のことをする。」と語り、著述家の千田琢哉さんは「あたりまえのことをあたりまえにできるようになるだけであなたは突出できる。」という言葉を残しています。

皆さんには、学校生活を通して当たり前とされる習慣を身に付け、どのような場面でも活躍できるような人間に成長してほしいと願っています。そのために、まずは生活リズムを整えて学校に遅刻しない習慣、登校時にしっかりとあいさつする習慣、制服を正しく着用する習慣を徹底して身に付けてほしいと思います。このようなことができていない場合は、当然指導されることとなりますが、その際はしっかりと受け止めて改善してください。叱られたくないからやるのではなく、その意味を理解して自然と当たり前の行動ができるようになってください。

国際コース旧3年生進路実績

| 大学名 | 合格数 |
|-----------|-----|
| 叡啓(広島県立) | 1 |
| 慶応義塾 | 1 |
| 明治 | 5 |
| 関西 | 2 |
| 関西学院 | 3 |
| 同志社 | 1 |
| 立命館 | 2 |
| 立命館アジア太平洋 | 1 |
| 京都産業 | 4 |
| 近畿 | 38 |
| 甲南 | 1 |
| 龍谷 | 2 |
| 関西外国語 | 11 |
| 京都外国語 | 11 |



新型コロナウイルス感染拡大防止の影響で4・5月が休校(オンライン授業)になるなど、大変な時期の受験でしたが、前年に増して良い結果を残してくれました!留学で培った英語力と強い気持ちが合格につながりました。上の表は2020年度国際コース卒業生37名の主な合格大学(のべ数)です。

また、3月9日(火)には3年生6名が国際科の後輩達のために、進路獲得についてアドバイスをしてくれました。話を聞いた旧2年B組の生徒達は、熱心に聞き入り、受験への心構えを築いたようです。

明るい選挙啓発ポスターコンクール

令和2年度 **今年も4名が入選しました!**



毎年、高校1年生の美術の授業では、1学期にポスターを制作しています。2020年度も298名の作品を本コンクールに出品した結果、4名が大阪市（第一次）審査に入選、さらにその中から、2名が大阪府（第二次）審査に入選しました。入選した4名の作品は、いずれも美しい色彩と丁寧なレタリング、テーマの趣旨を正確に伝える内容で、それぞれ個性の光る作品ばかりでした。

本コンクールに出品を始めてから20年以上になりますが、今回、例年と大きく違ったのは、緊急事態宣言が発令され、学校での授業開始が大幅に遅れたことでした。普段よりも限られた時間の中で、ポスターのアイデアスケッチを考え、画用紙に下描きを始めるところまでで精一杯となり、着色まで進めることができた人は少ない状況で、1学期授業中に完成させることができませんでした。そのため、生徒たちは夏休み中に頑張って作品を仕上げてくださいました。十分なアドバイスを伝えきれず、歯がゆい思いをしましたが、配色や表現方法に迷いや不安があったはずなのに、予想をはるかに超えて完成度の高い作品が多く、夏休み中の努力が伝わってきました。

たとえ時間が十分でなくても、工夫して克服していけることを生徒の皆さんの姿勢から感じることができ、嬉しく思いました。

さらに新しく魅力的な作品が生まれていく事を楽しみに、今後もこのコンクールに出品を続けていきたいと考えています。

大阪市（第一次審査）
入選受賞（4名）

- 光本 里咲さん
- ソン エリカさん
- 崔 瞳さん
- 近藤 日菜子さん

大阪府（第二次審査）
入選受賞（2名）

- 光本 里咲さん
- ソン エリカさん

※入選時の学年は全員高校1年生（現高2）



光本 里咲さん作品



ソン エリカさん作品



崔 瞳さん作品



近藤 日菜子さん作品

なお、本校生徒の作品を含む入選作品につきましては、大阪市のホームページから閲覧ができます。
 → <https://www.city.osaka.lg.jp/senkyo/page/0000003067.html>



募集対策部

2021年度生徒募集活動を振り返って

2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、附属中学校での「授業・クラブ体験会」、高等学校での「オープンスクール」の開催が中止となりました。また入試説明会は例年とは異なり「密」の状態を避けるため、事前申し込み制に切り替え、参加人数を制限させていただく形で実施いたしました。当初、高等学校の入試説明会ではそれぞれの当日に3回開く形で実施し、ご参加いただきました。しかし、人数制限の関係で、「参加したかったが、申し込み時に定員に達してしまっていて申し込みが出来なかった！」等のお声をあちこちで聞くようになり、急遽、12月に「特別回」を設定し入試説明会を開催いたしました。また、入試説明会と併せて実施しました「個別相談会」も各回、多数の受験生ならびに保護者の方からのご相談を承りました。

附属中学校におきましても、入試説明会では多くの保護者の方が熱心に耳を傾けられ、「本校の教育内容・方針」に共感くださいました。また、プレテストでは「本校の入学試験の問題に少しでも慣

れておこう!」と複数回、受験に挑戦した小学6年生の方も多くいらっしゃいました。高等学校、附属中学校ともに、このように多くの児童生徒および保護者の方々からご興味ご関心をもっていただいていることに感謝しております。今後も引き続き、両校の教育活動に多くの方からご支持ご理解いただけるよう、努力してまいります。

さて、2021年度入学試験は、新型コロナウイルス感染症の終息の見通しがかからない中での実施となりました。本校におきましても、感染症拡大防止策（受験教室の収容人数の低減等）を講じて実施いたしました。また高等学校の入学試験では面接試験を中止（ダブルディプロマコースの受験は除く）させていただきました。このような状況下で「受験生がどれぐらい集まるのだろうか?」と私たちの心境は複雑でした。

入学試験が終わり振り返ってみますと、高等学校では1700名を超える志願者数（附属中学校からの内部受験者を含む）、附属中学校では90名近くの志願者数がありました。両校の教育活動が多く

の方々からご支持ご理解いただいていることに、改めて深く感謝しております。

入学された生徒のみなさんの学校生活が充実したものになるよう、全力でサポートしていく所存です。今後も引き続き、両校の教育活動にご理解ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2021年度 高等学校入試結果

(1次および1.5次入試合計、内部受験者数含む)

| | 志願者数 | 合格者数 | 入学者数 |
|----|--------|--------|------|
| 専願 | 459名 | 446名 | 446名 |
| 併願 | 1,291名 | 1,284名 | 223名 |
| 合計 | 1,750名 | 1,730名 | 669名 |

2021年度 附属中学校入試結果

(1月入試および2月入試合計)

| 志願者数 | 合格者数 | 入学者数 |
|------|------|------|
| 88名 | 74名 | 70名 |

学芸ボランティア

GAKUGEI VOLUNTEER 2021/5月20日

第17号

発行元 大阪学芸高等学校・大阪学芸高等学校附属中学校
〒558-0003 大阪市住吉区长居1丁目4番15号
TEL.06-6693-6301 FAX.06-6693-5173

新たに

国際ボランティアスタート



国際ボランティア

大阪国際交流センターにご協力頂き、今年度から「国際ボランティア」がスタートしました。新型コロナウイルス感染症対策により、どのイベントも縮小での実施をしています。ボランティアとして参加できる人数も少なかったため、今年度は国際コース生徒のみ参加させていただきました。今年参加された「アイハウスde多文化体験（文化交流イベント）」と11・12月に実施された「英語交流・国際理解教室 幼〜小学生対象の英語教室」です。「アイハウスde多文化体験」は、言葉や国



令和2年度ボランティアサークル活動報告

登録者数:112名 ボランティア活動保険 申込:58名

◆セレッソボランティア

| 月 | 日 | 曜 | 内容 | 参加人数 |
|-----------------------|----|---|------------------------|------|
| 4月～6月 緊急事態宣言により、全試合中止 | | | | |
| 7 | 12 | 日 | J1/名古屋戦 学芸サポーターティングマッチ | 55 |
| 8 | 9 | 日 | J1/東京戦 | 8 |
| 8 | 15 | 土 | レディース/日テレ戦 | 4 |
| 8 | 23 | 日 | J1/仙台戦 | 10 |
| 9 | 5 | 土 | J1/浦和戦 | 10 |
| 9 | 6 | 日 | レディース/ジェフ | 10 |
| 9 | 19 | 土 | J1/鹿島戦 | 10 |
| 10 | 3 | 土 | J1/川崎戦 | 8 |
| 10 | 17 | 土 | J1/横浜FM戦 | 12 |
| 11 | 3 | 火 | J1/G大阪戦 | 24 |
| 11 | 15 | 日 | レディース/INAC戦 | 8 |
| 11 | 21 | 土 | J1/広島戦 | 12 |
| 11 | 29 | 日 | J1/横浜FC戦 | 10 |
| 3 | 10 | 水 | J1/清水戦 | 15 |
| 3 | 17 | 水 | J1/大分戦 | 10 |
| 4 | 2 | 金 | J1/鳥栖戦 | 15 |

◆国際ボランティア

| 月 | 日 | 曜 | 内容 | 参加人数 |
|----|----|---|------------------|------|
| 11 | 21 | 土 | アイハウスde多文化体験2020 | 4 |
| 11 | 29 | 日 | 天王寺区国際理解教室 | 2 |
| 12 | 13 | 日 | 天王寺区国際理解教室 | 2 |
| 12 | 20 | 日 | 天王寺区国際理解教室 | 2 |
| 2 | 7 | 日 | 西成区防災教育訓練 | 中止 |

※実施予定だった西成区防災教育訓練は緊急事態宣言により中止となりました。

◆地域清掃

| 月 | 日 | 曜 | 内容 | 参加人数 |
|---|----|---|--------------|------|
| 3 | 19 | 金 | 長居〜鶴ヶ丘間の清掃活動 | 10 |

籍文化のちがいを認め、尊重しあう「多文化共生社会の実現をめざし、日本に住む外国人の方々が主体となって実施する大阪国際交流センターで一番大きなイベントです。中国やインドネシア、ベトナムなど様々な国の方々が自国について紹介を行い、ダンス、体操、伝統工芸作りの体験などを行っていました。毎年大勢の人で賑わうイベントですが、今年はコロナの影響で参加辞退者が多数出てしまい、本当に残念でした。

「英語交流・国際理解教室」は、幼児〜小学生が対象の全6回の教育イベントです。講師は、大阪教育大学のインターン生や英会話教室の外国人講師の方々が行っていきます。学芸生は、飛び入りで後半の3回にサポート要員として参加させていただきました。

2月には西成区防災教育訓練への参加が予定されていましたが、直前で緊急事態宣言が発令されてしまい、中止となってしまいました。本校生徒が地域の方々の前で「避難する外国人役」としてパフォーマンスをすることが決まっていたので、とても残念に思います。

今年度は受付や手指消毒などの運営サポート中心の参加となりましたが、次年度以降より多くの業務に携われるように頑張っていきたいと思っています。

セレッソボランティア

写真部



第41回大阪府高等学校芸術文化祭写真部門が、2021年1月30日(土)・31日(日)に堺市立東文化会館で開催されました。288点の作品の中から、最優秀賞1点、優秀賞3点、奨励賞25点が選出され、本校の青山夏帆さん(高2年)の作品「見えない目で私を見る」が最優秀賞を受賞しました。

審査員から「まず最初に、何かわけがありそうな真ん丸な目に視線がいきまわります。そこから色々なことが連想されて、じっと見ている時間が一番良かった作品です。タイトルもとても良く、さま

ざまな感情が伝わってきて、ふたりの関係性を感じさせる作品でした。」と講評されました。青山さんの作品を含む上位10点は、8月に和歌山県で開催される第45回全国高等学校総合文化祭写真部門(紀の国わかやま総文2021)に出品されます。また、西岡紗帆さん(高2年)の『母の幸せ』と谷口歩咲さん(高3年)の『明日から頑張る』が奨励賞を受賞しました。

ボランティアサークル 春の地域清掃

3月19日(金)3学期終業式の後、日頃自分たちが通学路として利用している長居〜鶴ヶ丘間の清掃活動を行いました。ゴミ袋とトンテを持って学校を出発。タバコの吸い殻やペットボトル、お菓子の空き箱など様々なゴミが落ちていました。通行する地域の方々から「ありがとう」「頑張ってるね」などのお声掛けを頂き、参加した生徒たちの励みとなりました。今後は、定期的に地域清掃の機会を増やしていこうと思います。



【見えない目で私を見る】
青山夏帆さん
祖母の家の犬を撮影しました。左目が白内障で見えにくいのですが、名前を呼ぶと私を見つめます。お互いの気持ちのつながりを表現することをテーマにして、目に光が当たるように工夫して撮影しました。最優秀賞を受賞することができて、とても嬉しく思います。これからは人の写真も撮ってみたいと思っています。



【母の幸せ】
西岡紗帆さん
料理をする母を見ていて、母が学生のころピアノを弾いていたことを思い出しました。この作品で表現しようとしたのは、昔と今では母の感じる幸せは変わっているかもしれないけれど、どちらも幸せであることに違いはないということです。ピアノを弾く母の姿と料理をする母の姿が重なって見えるように工夫しました。受賞を知って驚きました。これから、友達を綺麗に撮ることに挑戦したいと思っています。



【明日から頑張る】
谷口歩咲さん
春休みの宿題に追われながらも、睡魔に襲われてワークを開いたまま眠ってしまった中学生の弟を撮影しました。コロナ禍でのさやかな日常をありのままに表現しました。いろいろな角度から撮影して、一番伝わる構図を探しました。自分の作品が認められて嬉しい気持ちでいっぱいです。これからも「作品を創る」ことを意識していきたいと思っています。